



# たっち

教育だよりの「たっち」は、みんなの心や輝きへの「タッチ」を通して、「たちかわ」の地域・家庭・学校が手をつないで、生涯を通じた学びを推進したいという思いを込めて付けた名前です。

平成22年  
(2010年) 年2回発行

6/10

第15号

編集・発行／立川市教育委員会

〒190-8666 立川市泉町1156-9

☎042(523)2111 (市役所代表)

◀立川市ホームページ▶

http://www.city.tachikawa.lg.jp/



第一回建替検討協議会のようす

第一小学校の現校舎は昭和39年から昭和35年に建設されたもので、既に築50年以上を経過して老朽化が目立ってきています。そして平成15年5月には建替への請願が市議会で採択されており、市や教育委員会もその方針を尊重して建替へのマスタープランを作成しました。

その内容は、保護者・地域の住民の方々や学校関係者などで組織する「第一小学校建替検討協議会」で検討していただいた原案に市の考え方を加えたもので、平成22年度はこのマスタープランに基づいて基本設計を策定していきます。

## 第一小学校の建替え 市民協働により マスタープランを 作成しました



オープンスペース型の教室のイメージ

①「教育方法の多様化、今後の学校教育の進展に対応できる学校施設」として、例えば毎週異なる時間割や30分・60分などの変則的な単位時間に対応できる施設、少人数指導に対応できるオープンスペース型の教室の他、

### 具体的な計画目標

建替えに当たっては、一小的教育目標である「21世紀の社会に主体的に対応し、国際的な視野に立つて進んで協調することのできる心身ともに健康で人間性豊かな児童を目指す」を実現するために、「子どもたちの夢、教師の夢が育ち、また創立140周年という歴史のある学校として誇りをもてる学校創り」を基本方針とします。

### 建替えで目指すべき方向性

②「生涯学習をはじめとする、地域の諸活動を支える機能をもつ施設」として、柴崎学習館と柴崎児童保育所を複合化し、異なる世代間交流の実現を目指します。また、地域の防災拠点として相応しい施設とします。

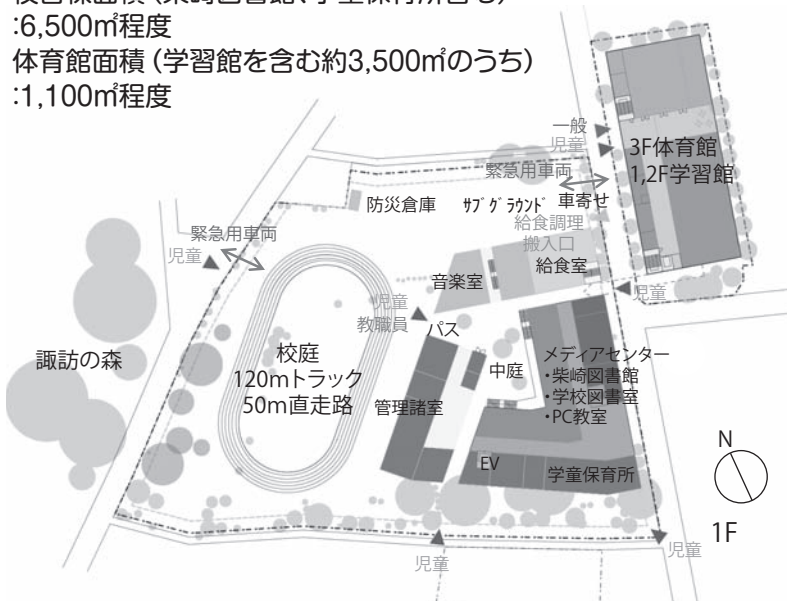
③「情報技術の進化に対応できる学校施設」として、校内LANや図書館のメディアセンタ化を目指します。

④「環境や景観に配慮した学校施設」として、地域の景観に溶け込む外観とし、太陽光発電や自然採光、屋上・壁面緑化、校庭の芝生化など、地球温暖化等の環境問題へ積極的に対応する

次のような施設を目指します。

○多目的教室（学年集会やランチルームなどで使用可能）○学年ごとの昇降口（2階以上にも配置して外部階段で誘導）○子どもたちや地域と連携しやすい管理諸室（職員室、校長室、事務室、保健室など）○普通教室と特別教室の連携（低学年の児童にも興味をもたせられるような造りと配置）

□東側配置案（一部3階建て）  
校舎棟面積（柴崎図書館、学童保育所含む）  
:6,500㎡程度  
体育館面積（学習館を含む約3,500㎡のうち）  
:1,100㎡程度



※マスタープランでは校舎配置案について東西南北の4案を検討した結果、東側配置案を第一優先案としました。

その後、平成23年度には実施設計を行い、建替事業着工を目指します。

※マスタープランについてくわしくは、教育総務課（市庁舎2階）、市政情報コーナー（市庁舎3階）でご覧になれます。

### 今後の予定

学校施設を目指します。

⑤「心豊かな生き生きとした子どもを育成するとともに、安全、安心を与え、ゆとりとうるおいのある学校施設」として、耐震性の高い校舎とするほか、バリアフリー化やセキュリティ、防音対策に取り組みます。また、子どもたちが安全・安心な環境の中で学びと生活できる学校施設を目指します。

## 第11回 中学生「東京駅伝」大会が 開催されました

平成22年3月21日（日）に東京都教育委員会が主催する第1回中学生「東京駅伝」大会が、中央区晴海埠頭の特設会場で開催されました。この大会は、中学生の健康増進や体力向上、競技力の向上を目的としたもので、都内の国公私立中学2年生がリレー形式で走りました。

本大会は都内51の自治体が参加しており、立川市は市内の中学校から選手を選抜して参加し、女子チームは50チーム中10位と

大いに健闘して敢闘賞を受賞しました。男子チームは51チーム中46位でした。

大会当日は、多くの保護者、市民の皆様から応援をいただき、ありがとうございました。

## 教育センターを 開設しました!

学校教育の振興、充実・発展を図るため、平成22年5月6日に、立川市教育委員会教育センターを、立川簡易裁判所跡施設（錦町4-1-19）の2階に暫定開所しました。教職員などを対象とした研修室や教育資料室、学校教育サポートセンターを設置しています。

## 学校教育の充実に向けた3つの視点

- 人権教育の推進** 立川市教育委員会では、子どもたちを取り巻く、学校・家庭・地域社会の人権感覚を高め、子どもたちの豊かな心の育成を図ることを目指し、文部科学省人権教育総合推進地域事業の指定を受け、人権教育の充実を図っています。今年度も、「夢をつなぐ 心をつなぐ」をテーマに、市立小・中学校が連携を図った人権教育に全校で取り組みます。
- 研究活動の充実** 市立全小・中学校が研究校の指定を受け、特別支援教育や外国語活動、学力向上などの研究に取り組んでいます。子どもにとって「分かる授業」や「興味・関心を引き出す授業」の実現を目指して、授業改善を進めます。
- 地域等との連携** 開かれた学校づくりを目指し、保護者、地域の方々との連携を図り、学習指導における指導体制の改善を進めます。昨年度は、のべ1万4千人以上のボランティアの方々にご協力をいただきました。今年度も、多くの方々のお力をお借りして、地域等との連携を図った教育活動を充実します。



学 校 公 開 日				
平成 23 年度小・中学校入学を予定されている方は、この機会に学校公開にお越しください。なお、公開時間等については、各学校にお問い合わせください。(日程は変更する場合があります。す。)また、当日は見学のみとなります。学習活動等の円滑な進行之、ご協力をお願いします。				
☑指導課 内線2497～2499				
学校名	道徳授業地区公開講座	運動会体育祭	セーフティ教室	その他
第一小学校	9月18日	10月2日		展覧会11月19・20日
第二小学校	10月16日	10月2日	2月19日	音楽会11月19・20日
第三小学校	10月14日		6月18日	学芸会11月19・20日
第四小学校	1月29日	10月2日		学芸会11月5・6日
第五小学校		10月2日	7月13日	作品展11月12・13日
第六小学校	10月16日		6月23日	展覧会2月4・5日
第七小学校		10月2日	6月29日	学芸会11月19・20日
第八小学校		10月2日	10月28日	学習発表会11月12日 作品展11月13日
第九小学校	2月4日		9月22日	学習発表会11月5・6日
第十小学校	2月11日		7月16日	音楽会11月19・20日
けやき台小学校	11月19日	9月25日		展覧会11月19・20日
西砂小学校	10月13日	9月25日	6月23日	学芸会11月19・20日
南砂小学校	1月22日	10月2日	12月21日	作品展2月18・19日
若葉小学校	2月17日		7月13日	学芸会11月19・20日
幸小学校	9月18日		10月1日	展覧会11月18・29日
松中小学校	2月5日	9月25日	6月25日	造形展11月19・20日
大山小学校	6月19日		10月15日	展覧会2月4・5日
柏小学校	1月24日		11月13日	展覧会2月10・11日
上砂川小学校	10月30日		6月25日	学習発表会11月12・26日
新生小学校	1月19日	10月2日	11月25日	展覧会11月19・20日
立川第一中学校	9月25日	6月12日	7月2日	合唱コンクール11月2日
立川第二中学校	6月19日		7月10日	合唱祭10月30日
立川第三中学校			6月11日	合唱コンクール10月28日
立川第四中学校			6月17日	合唱コンクール10月29日
立川第五中学校	7月10日		11月12日	合唱コンクール10月26日
立川第六中学校	9月27日		11月27日	合唱コンクール10月23日
立川第七中学校		6月19日	7月16日 12月24日	合唱コンクール11月4日
立川第八中学校	9月25日		7月10日	合唱コンクール10月22日
立川第九中学校	1月19日		12月17日	音楽学習発表会10月21日

※斜線部は今年度終了しています

平成 23 年度中学校入学保護者説明会			
立川第一中学校	11月19日	立川第六中学校	11月27日
立川第二中学校	12月11日	立川第七中学校	1月15日
立川第三中学校	10月14日	立川第八中学校	12月17日
立川第四中学校	9月24日	立川第九中学校	7月7日
立川第五中学校	2月11日		



本校は平成19年度より、市の研究委託を受け、「すべての生徒の学びを保障するために」をテーマとし、東京大学大学院の佐藤学教授を中心に、全世界で「学びの共同体」の理念を授業に取り入れた研究を推進してまいりました。一昨年度の研究発表会では、生徒の学習意欲の向上を成果として報告ができました。

中学校では、教科の専門性が壁となり、教師間の研究が深まりにくい状況にあります。そこで、指導技術の研究だけでなく、子どもがどの場面でも、どのように学んでいるかを見取り、それを授業改善に生かす取組を行っています。また、男女混合の小グループを授業に取り入れ、聞き合う関係づくりを大切にしたいと、学び合いの学習を進めています。

現在、新たな研究課題を「学び合い」と(特別)支援教育の充実」とし、さらに研究を発展させています。



小グループによる話し合い活動

本校は平成19年度より、市の研究委託を受け、「すべての生徒の学びを保障するために」をテーマとし、東京大学大学院の佐藤学教授を中心に、全世界で「学びの共同体」の理念を授業に取り入れた研究を推進してまいりました。一昨年度の研究発表会では、生徒の学習意欲の向上を成果として報告ができました。

中学校では、教科の専門性が壁となり、教師間の研究が深まりにくい状況にあります。そこで、指導技術の研究だけでなく、子どもがどの場面でも、どのように学んでいるかを見取り、それを授業改善に生かす取組を行っています。また、男女混合の小グループを授業に取り入れ、聞き合う関係づくりを大切にしたいと、学び合いの学習を進めています。

現在、新たな研究課題を「学び合い」と(特別)支援教育の充実」とし、さらに研究を発展させています。

### 学びの共同体

本校は平成19年度より、市の研究委託を受け、「すべての生徒の学びを保障するために」をテーマとし、東京大学大学院の佐藤学教授を中心に、全世界で「学びの共同体」の理念を授業に取り入れた研究を推進してまいりました。一昨年度の研究発表会では、生徒の学習意欲の向上を成果として報告ができました。

本校では、「総合的な学習の時間」の中で、2年生で実施する職場体験学習を、「社会を知り、社会より学ぶ貴重な場」であると考えられています。特徴的なことは、生徒が自分たちで学習させていただく職場を探し、電話をかけてお願いすることから学習がスタートすることです。私たちが教員も、社会の一端を生徒に経験させたく、生徒とは別に職場に向き合い、指導をお願いしています。

生徒の希望は、圧倒的に商店や飲食店が多いのですが、昨年は野球場、映画館などにもお世話になりました。また保育園や小学校、立川ろう学校にも毎年このようにお願いしています。



市内の商店での職場体験学習

本校は平成19年度より、市の研究委託を受け、「すべての生徒の学びを保障するために」をテーマとし、東京大学大学院の佐藤学教授を中心に、全世界で「学びの共同体」の理念を授業に取り入れた研究を推進してまいりました。一昨年度の研究発表会では、生徒の学習意欲の向上を成果として報告ができました。

本校では、「総合的な学習の時間」の中で、2年生で実施する職場体験学習を、「社会を知り、社会より学ぶ貴重な場」であると考えられています。特徴的なことは、生徒が自分たちで学習させていただく職場を探し、電話をかけてお願いすることから学習がスタートすることです。私たちが教員も、社会の一端を生徒に経験させたく、生徒とは別に職場に向き合い、指導をお願いしています。

学校の中では学びだけではなく、今後職場体験学習等、社会との接点を意識した教育活動の充実を進めていこうと考えています。

昨年11月に、立川市教育委員会研究協力校として「学力の向上を図る」コミュニケーション能力の育成を通して、「テーマ」に発表会を開催し、日ごろの授業風景の公開及び「新学習指導要領とコミュニケーション能力」についての講演会を行いました。



ペアになっての学び合い学習

### 本はともだち

#### 柏小学校

本校は、平成17年度に読書活動推進校としての指定を受け、「進んで読書をする子どもをめざして」というテーマのもと、様々な取組を始めました。

まず、学校図書館の環境整備を行いました。そして、朝の読書タイムを設定し、子どもたちが本に親しむ機会を増やしました。特に、夏季休業中にも学校図書館を開放する試みを始めました。また、年2回の読書旬間では、図書委員会の子どもたちによる本の紹介や読み聞かせなど、読書の楽しさをアピールする活動も進めました。さらに、保護者及び地域ボランティアによる読み聞かせ活動を、年間を通して各学年で行うことにより、本に親しむ子どもたちがともな増えました。これらの活動は現在でも継続して行っています。



図書ボランティアによる読み聞かせ

とりわけ、PTA組織の中に「図書部」が位置付けられていることは、本校の特色の一つです。図書ボランティアのメンバーから互選された方々が構成員として活動しています。

このように本校は、「学校、保護者・地域、そして学校図書館支援指導員」の輪(和)によって連携・協力しながら、「本はともだち」と言える子どもたちを育てているところです。



言語環境を意識した授業

### 言語環境

#### 立川第四中学校

本校は言語環境を整える取組を進めています。これは、例えば「言葉の大切にしよ」というような一般的な取組を超えて、「言葉のパワーを引き出し、そのパワーを使って、教育活動のバージョンアップを図ろう」とするものです。つまり、言語活動の活性化を図り、思考力向上につなげようとするものです。

これまでに、落語家や国語研究者を招いて、言語の魅力や言語とは何かなど、理論を中心に言語の機能を学習してきました。また、各教科の授業で、どのような言語活動を取り入れると効果が上がるか、にも取り組みました。

さらに、読書活動は、学校の言語環境に欠かせない役割があることから、学級文庫の設置や



地域の方に普遊びを教わる子どもたち



地域の方を講師に迎えた陶芸教室

本校は、平成17年度に読書活動推進校としての指定を受け、「進んで読書をする子どもをめざして」というテーマのもと、様々な取組を始めました。

まず、学校図書館の環境整備を行いました。そして、朝の読書タイムを設定し、子どもたちが本に親しむ機会を増やしました。特に、夏季休業中にも学校図書館を開放する試みを始めました。また、年2回の読書旬間では、図書委員会の子どもたちによる本の紹介や読み聞かせなど、読書の楽しさをアピールする活動も進めました。さらに、保護者及び地域ボランティアによる読み聞かせ活動を、年間を通して各学年で行うことにより、本に親しむ子どもたちがともな増えました。これらの活動は現在でも継続して行っています。



子どもたちの自主的なあいさつ(職員室でさようなら)

本校は、平成17年度に読書活動推進校としての指定を受け、「進んで読書をする子どもをめざして」というテーマのもと、様々な取組を始めました。

まず、学校図書館の環境整備を行いました。そして、朝の読書タイムを設定し、子どもたちが本に親しむ機会を増やしました。特に、夏季休業中にも学校図書館を開放する試みを始めました。また、年2回の読書旬間では、図書委員会の子どもたちによる本の紹介や読み聞かせなど、読書の楽しさをアピールする活動も進めました。さらに、保護者及び地域ボランティアによる読み聞かせ活動を、年間を通して各学年で行うことにより、本に親しむ子どもたちがともな増えました。これらの活動は現在でも継続して行っています。



保護者・講師の方々による琴教室

本校は、平成17年度に読書活動推進校としての指定を受け、「進んで読書をする子どもをめざして」というテーマのもと、様々な取組を始めました。

まず、学校図書館の環境整備を行いました。そして、朝の読書タイムを設定し、子どもたちが本に親しむ機会を増やしました。特に、夏季休業中にも学校図書館を開放する試みを始めました。また、年2回の読書旬間では、図書委員会の子どもたちによる本の紹介や読み聞かせなど、読書の楽しさをアピールする活動も進めました。さらに、保護者及び地域ボランティアによる読み聞かせ活動を、年間を通して各学年で行うことにより、本に親しむ子どもたちがともな増えました。これらの活動は現在でも継続して行っています。

本校は、平成17年度に読書活動推進校としての指定を受け、「進んで読書をする子どもをめざして」というテーマのもと、様々な取組を始めました。

まず、学校図書館の環境整備を行いました。そして、朝の読書タイムを設定し、子どもたちが本に親しむ機会を増やしました。特に、夏季休業中にも学校図書館を開放する試みを始めました。また、年2回の読書旬間では、図書委員会の子どもたちによる本の紹介や読み聞かせなど、読書の楽しさをアピールする活動も進めました。さらに、保護者及び地域ボランティアによる読み聞かせ活動を、年間を通して各学年で行うことにより、本に親しむ子どもたちがともな増えました。これらの活動は現在でも継続して行っています。

### 「ふるさとづくり」

本校は、平成17年度に読書活動推進校としての指定を受け、「進んで読書をする子どもをめざして」というテーマのもと、様々な取組を始めました。

まず、学校図書館の環境整備を行いました。そして、朝の読書タイムを設定し、子どもたちが本に親しむ機会を増やしました。特に、夏季休業中にも学校図書館を開放する試みを始めました。また、年2回の読書旬間では、図書委員会の子どもたちによる本の紹介や読み聞かせなど、読書の楽しさをアピールする活動も進めました。さらに、保護者及び地域ボランティアによる読み聞かせ活動を、年間を通して各学年で行うことにより、本に親しむ子どもたちがともな増えました。これらの活動は現在でも継続して行っています。



地域においての太鼓の発表



地域の方々による学習支援

本校は、平成17年度に読書活動推進校としての指定を受け、「進んで読書をする子どもをめざして」というテーマのもと、様々な取組を始めました。

まず、学校図書館の環境整備を行いました。そして、朝の読書タイムを設定し、子どもたちが本に親しむ機会を増やしました。特に、夏季休業中にも学校図書館を開放する試みを始めました。また、年2回の読書旬間では、図書委員会の子どもたちによる本の紹介や読み聞かせなど、読書の楽しさをアピールする活動も進めました。さらに、保護者及び地域ボランティアによる読み聞かせ活動を、年間を通して各学年で行うことにより、本に親しむ子どもたちがともな増えました。これらの活動は現在でも継続して行っています。



手話を使つてのゲーム交流

## 各学校での取組を紹介しています

一人一人が輝き、共に生きる力をはぐくむ学校  
立川一中校区小・中連携教育校  
第四小学校

本年度、創立70周年を迎える第四小学校の特色ある教育活動を紹介いたします。

本校の特色ある取組のいくつかを紹介いたします。

●その一「朝・帰りのあいさつ」  
平成17・18年度東京都教育委員会人権尊重教育推進校の取組以来、継続しています。校長室や職員室、廊下などに児童のあいさつの声が響き渡っています。

●その二「スポーツ教育推進校」  
東京都教育委員会の指定校として、持久走週間・なわとびチャレンジ、15分間の「さんさんタイム」でも外遊びの時間を確保し、体力向上に努めています。

●その三「六小スタンダード」  
これは、校内研究を進める中ではぐくまれた、本校の児童に身に付けさせた共通指導事項です。学習面・生活面で指導しています。今後、それぞれに充実させていきます。

●その四「ひまわりタイム」  
地域の総合的な学習の時間は、本校に支えられています。6年生は、羽衣町の事業所で数日間、体験学習をしています。まさに、キャリア教育です。4年生は、羽衣商店街のエコ活動を調べ、環境について学んでいます。昨年の活動の成果として、「たちかわ環境賞学校賞」を受賞しました。ほかにも、3年生から5年生までは、障害のある方々との交流を続けています。

本校は、平成17年度に読書活動推進校としての指定を受け、「進んで読書をする子どもをめざして」というテーマのもと、様々な取組を始めました。

まず、学校図書館の環境整備を行いました。そして、朝の読書タイムを設定し、子どもたちが本に親しむ機会を増やしました。特に、夏季休業中にも学校図書館を開放する試みを始めました。また、年2回の読書旬間では、図書委員会の子どもたちによる本の紹介や読み聞かせなど、読書の楽しさをアピールする活動も進めました。さらに、保護者及び地域ボランティアによる読み聞かせ活動を、年間を通して各学年で行うことにより、本に親しむ子どもたちがともな増えました。これらの活動は現在でも継続して行っています。

本校では夏休み期間において、毎年サマースクールを実施しています。これは学校における授業がない中でも、児童の学びを継続させることと同時に、児童の興味・関心に応じて個性を伸ばすことを目的としています。

昨年度は28の講座を設け、延べ1474名の児童が活動しました。講座の内容も年々充実の方向で検討しています。運動領域(卓球・水泳・バスケケットボール・フットサル・セパタクロー・キックボクシング)、学習領域(科学実験・計算スキルのパズル)、芸術領域(絵画・琴・ヴァイオリン鑑賞・百人一首)、体験領域(エスニック料理・パン焼き・サンドイッチ・布ぞうり・押し花・ハーブ石けん・お菓子・バター・クロスステッチ・ビーズ工作)、趣味領域(囲碁・将棋・映画・花火・手品)の側面から講座を設定し実施しました。

指導においては、本校教職員はもとより、保護者や地域の皆様、また、民間活動団体や大学・サクル、国文学研究資料館や日本将棋連盟等、多方面から様々な方々を講師としてお招きしています。今年も児童が充実した夏を過ごせるよう工夫・改善を図ります。

「連携」は、本校の学校経営の三本柱のうちの大きな一つです。その中でも、立川ろう学校との連携は長く、創立当初から続いています。公立小学校と特別支援学校の交流がこれほどの長さで取り組まれている例は少ないと思います。

交流は、双方の学校の職員が四月に打ち合わせをした上で、全学年が年間を通じて行っています。

南砂小の歴史は、ろう学校交流の歴史



## 6月から 幸図書館と錦図書館に 指定管理者制度を 試行導入しました

休館日を減らし、開館時間を延長

市は、6月から、幸図書館と錦図書館に指定管理者制度を試行導入し、開館日と開館時間を拡大しました。

収集する資料の内容や開館日・時間の拡大など、近年市立図書館に対する市民ニーズは多様化しています。こうした課題に対応するため市は、民間の専門知識やノウハウを活用することとし、経営改革プランに基づいて、平成20年度に「図書館の見直し方針」を策定。サービスの維持・向上とコスト軽減を図るため地区図書館に指定管理者制度を導入することとしました。幸図書館と錦図書館の指定管理者は次の通りです。

●指定管理者名 株式会社  
図書館流通センター（文京区大塚3-4-7）

●指定の期間 平成22年6月

### 放課後子ども教室

#### 協力者を募集します

#### 【放課後子ども教室とは】

子どもの安全・安心な居場所を設け、地域の方々の参画を得て大人が子どもを見守りながら、遊びや学習・スポーツ・文化活動、地域住民との交流等の取り組みを推進するものです。

国と都の補助事業として平成19年から始まり、市の全小学校で、地域の方々や保護者、学校関係者の協力により実施してい

開館時間と休館日について		
図書館名	開館時間	休館日
中央図書館 幸図書館 錦図書館	午前10時～午後5時 ※中央図書館のみ火曜～金曜日は午後7時まで開館（4階児童開架フロア～は午後5時まで）	・毎週月曜日と毎月第3木曜日。ただし、国民の祝日と重なった場合はその翌日 ・法定電気設備点検日 ・年末年始 ・特別整理期間
幸図書館 錦図書館	午前10時～午後7時 ※ただし、土曜・日曜日、祝日は午前10時～午後5時	・毎月第2・第4月曜日。ただし、同日が国民の祝日と重なった場合はその翌日 ・法定電気設備点検日 ・年末年始 ・特別整理期間

1日（平成25年5月31日）（3年間）

#### 施設利用上の変更点

▼毎週月曜日の休館日を毎月第2・第4月曜日の月2回に変更（ただし、同日が国民の祝日と重なった場合はその翌日）

▼平日の開館時間を午後7時まで延長（従前は午後5時まで）

なお、その他の館に対する開館日、開館時間の拡大については、幸図書館と錦図書館への導入効果を検証した後、検討することとしています。

#### 問 中央図書館

☎（528） 6800

#### ●協力者を募集

放課後子ども教室では、安全管理員、ボランティア、運営委員としてご協力いただける方を募集しています。地域のお役に立ちたい方、子どもと触れ合いたい方など、興味のある方をお待ちしています。

ます。実施日や実施時間、内容は各学校によって異なります。各教室は左表のとおり。

●子ども家庭部子ども育成課・内線1310

### 社会教育委員の提言を まとめました

本年4月、社会教育委員の会議がまとめた「地域の教育力を高めるために」という提言が、教育委員会に提出されました。

家庭や地域の教育機能の低下が指摘されるなかで、社会教育委員の会議では、昨年からPTA、子ども会、子育て支援団体などのヒアリングを行い、課題の把握に努めました。そして、

①学校と地域・子どもと学びあうまちづくり、②地域で教育、福祉に携わる市民の連携・協力という視点を基本に4つの具体的提案が行われました。

市としても、関係者と協力して、この提言の具体化に努力していきたいと思っています。

地域学習館運営協議会を設置します

市民と協働して市内6つの地域学習館の事業運営などを協議・展開していく組織として、準備会を平成21年3月に立ち上げ、平成22年6月より地域学習館運営協議会を設置します。

委員は、学識経験者・学習関連団体代表・たちかわ市民交流大学市民推進委員会代表・地域



学習館利用者代表・公募市民で構成していきます。

地域における「生涯学習からはじまるまちづくり」「市民力で創る生涯学習」の地域学習館を目指し、活動していきます。

地域学習館が地域の生涯学習の拠点となるよう、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

#### 問 生涯学習推進センター

☎（527） 5757

#### 学務課からのお知らせ

新学習指導要領への移行に伴い、教育委員会学務課では、平成21年度に引き続き、授業に必要な教材の整備を行います。

例えば小学校社会科では、広い視野から我が国の国土に対する理解を一層深めるため、地球儀を使って指導することが位置

### 祝 教育委員会表彰

立川市教育委員会表彰規定に基づき、以下のとおり表彰を行いました。《敬称略・順不同》

▼細谷訓 内海靖子 体育指導委員として社会教育の発展に貢献寄与されました。

教育委員会では、有益な調査・研究、特に模範とする行為、教育・文化の振興における功績、体育その他の文化活動において特に優秀な成績をあげた個人または団体を、規定に基づき表彰しています。

自薦・他薦を問わず、随時行いますので、詳しくはお問い合わせください。

問 教育総務課・内線2464

問 学務課管理係・内線2510

付られました。他の教科でも同様に様々な教材が必要です。立川市では、学習に必要な環境面の充実も推し進めています。

### 柴崎市民体育館を リニューアルしました



### 立川の歴史と文化財 ⑮

「中世立川氏関係史料集」「立川文書」の刊行



このたび、立川市教育委員会は、中世立川氏の関係史料をまとめた「立川文書」を刊行いたしました。（写真）

中世立川氏は、いわゆる武蔵七党の西党日奉氏に属していた武士で、平安時代の終わり頃から他の同族らとともに立川周辺に土着していた武士です。鎌倉幕府の正史「吾妻鏡」には、將軍随兵の一人として京へ上った、立川兵衛尉（基泰）という人物が登場するなど、一族の中には

このたび刊行された史料集には、17点の立川氏文書がすべてカラー写真で掲載され、解説・読み下しをはじめ、用語など詳しく解説されています。また、立川氏関係の系図や古代末・近世までの立川氏関連史料も合わせて収録されています。

歴史民俗資料館や市役所市政情報コーナーなどで頒布しています。郷土史研究にぜひご利用ください。（A4判・157頁・1千800円）

鎌倉幕府の御家人となって活躍していた人物もいたのです。全国的にメジャーな武士というわけではありませんが、市名と同じ名前を持つ立川氏は、立川市ゆかりの武士といつてよいでしょう。

このコラムの⑥号（平成17年12月号）でも詳しく紹介いたしました。立川氏が遺した古文書に立川氏文書があります。鎌倉時代・室町時代まで、全部で17点（重複分を除くと14点）あり、歴史民俗資料館に保管（3点は寄託）されています。

このたび刊行された史料集には、17点の立川氏文書がすべてカラー写真で掲載され、解説・読み下しをはじめ、用語など詳しく解説されています。また、立川氏関係の系図や古代末・近世までの立川氏関連史料も合わせて収録されています。

歴史民俗資料館や市役所市政情報コーナーなどで頒布しています。郷土史研究にぜひご利用ください。（A4判・157頁・1千800円）

#### ●ダンス（HIPHOP）エリア

施設の中庭にミラーを設置し、ダンスエリアとしてご利用いただけます。

#### ●レンタルロッカーの設置

1か月単位でご利用いただける個人専用のレンタルロッカーを設置しました。

各事業の詳細に関しては柴崎市民体育館受付窓口か電話にて直接お問い合わせください。

#### 問 柴崎市民体育館

☎（523） 5770